

専用ハーネス・エンジンスターター本体の接続

ステップ
1

キースwitchの配線カプラーを探します。

配線カプラーの位置は大別すると次のようになります。詳しくは「適応車種一覧表・EGSシリーズ」をご参照下さい。

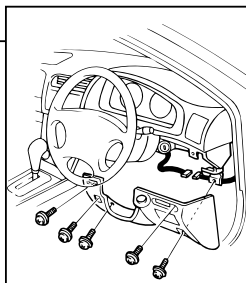
メモ キースwitchの配線カプラーは基本的に車種別専用ハーネスのカプラーと同形状なので、それを目安にして下さい。

■タイプ1

- アンダーカバーを外し、キーシリンダーに直接接続されているか、もしくはキーシリンダー直近に位置しているタイプ。

メモ

アンダーカバーを外す際、車種によってはスピーカーカバー内や、コインポケット等に隠しネジが付いている場合があります。

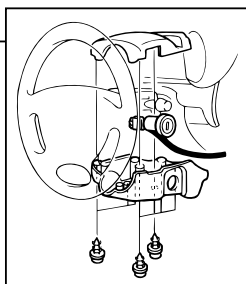


■タイプ2

- ステアリングコラムカバーを外し、キーシリンダーに直接接続されているか、もしくはキーシリンダー直近に位置しているタイプ。

メモ

ステアリングコラムカバーを外す際、車種によってはステアリングを90度位回さないといけない場合があります。

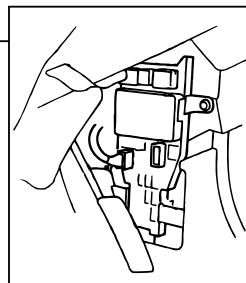


■タイプ3

- ヒューズボックスやジャンクションブロックに直接、接続されているタイプ。

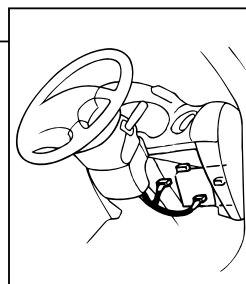
メモ

ホンダ車の場合、アクセルペダル横のヒューズボックス内に接続されている場合もあります。



■タイプ4

- 配線カプラーが2箇所に分かれているタイプ。それぞれの位置が離れているものもあります。



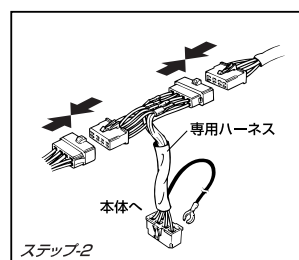
取り付け作業

ステップ
2

専用ハーネスを接続します。

発見したキースwitchの配線カプラーを一旦外します。
車種別専用ハーネスを、外したカプラーの間に割り込ませます。
専用ハーネスに「専用ハーネス接続時の注意事項」が同梱されている場合は、追加配線を行って下さい。

注意 カプラーの接続は振動で外れないように、最後まで確実に差し込んで下さい。本体がうまく動作しないことがあります。



ステップ2

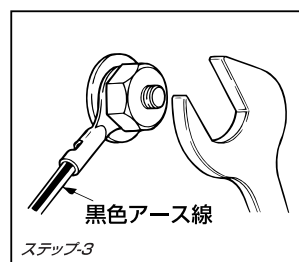
ステップ
3

アース線を接続します。

車種別専用ハーネスから出ている、黒色アース線を車体の金属部分に確実に締め付けます。これにより間接的にバッテリーのマイナスに接続されます。接続箇所を充分確認の上、適正な場所に接続して下さい。

注意

塗装されている金属部分や、車の振動等で緩んでしまう場所に取り付けしないで下さい。動作が不安定となり、オートマチック車の登録情報が消去されたり、エンジンが始動しない等の不具合が生じます。



ステップ3

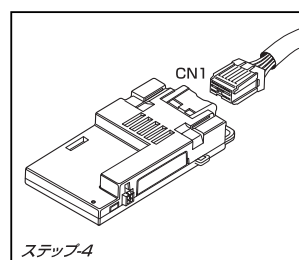
ステップ
4

エンジンスターター本体と専用ハーネスを接続します。

エンジンスターター本体のコネクター部(CN1)に中継ケーブルを経由して専用ハーネスを接続します。

メモ

中継ケーブルを使用しない車種もあります。コネクター部(CN1)の接続をすると、エンジンスターター本体から「ブーッ ブーッ…」と断続音が鳴りはじめ、「オートマチック車の登録」動作が開始されます。断続音は約3分経過すると自動的に停止します。



ステップ4

以上で接続は終了です。

次に必ずオートマチック車の登録をして下さい。